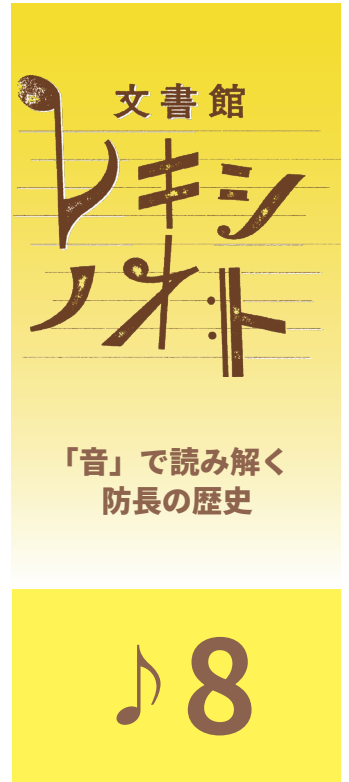




「防長精神と選挙肅正（レコード）」（一般郷土史料1168）〔昭和10年8月吹き込み〕

歴史ノオト⑧

政治の音 ～「選挙肅正」と「防長精神」～

「開会の辞」「閉会の辞」「祭文」「誓詞」「演説」「宣言」「訓示」。共通するのは、集った人々の前でメッセージが読み上げられるということです。この「発せられた」音に、人々が一齐に耳を傾けること、つまり、音の響きのもたらす求心力がその場における最も大切な要素です。これは、「祝詞」や「おつげ」に神妙に耳を傾けるのと同じ構図なのかもしれません。こうして発せられた数々の音は、文字としても記録されました。時代が下れば新たなツールとして「レコード」や「映像」もそこに加わることになりました。

声を発することといえば、儀式後の直会（なおらい）の場面での「乾杯の音頭」や「万歳三唱」もこのカテゴリーに属するものと言えるのではないのでしょうか。飲食をともにすることに加え、同じ言葉を発することに大きな意味があるのです。

スポーツイベントや学校行事などでの「国歌斉唱」も、参加者による「唱和」が帰属意識を生み出す装置となっていると理解できます。

【選挙肅正の音】

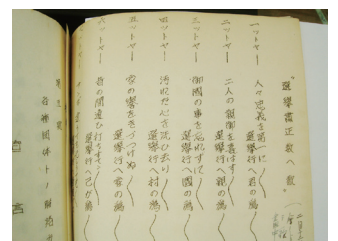
昭和初年、政友会と憲政会による二大政党制がもたらした不安定な政情、経済的な停滞、閉塞感の充満した時代の雰囲気の中で人々は安定を求めました。政治の面では、二大政党による候補者調整が無投票というびつな形で表面化してしまいました。また、暗躍する「選挙ブローカー」による票の買収や調整が問題視されたことから、本来あるべき清く正しい選挙の姿が希求されるようになっていきました。そして、そのロジックの形成に利用され強調されていたのが「防長精神」だったのです（田中義一や松岡洋右が「お国入り」に際して好んで用いたとされます）。昭和10年6月、全国的な選挙肅正方針が打ち出されました。これにともない、山口県でも同年10月の県会議員選挙を目前に控えた8月、菊山嘉男知事の演説「防長精神と選挙肅正」がレコードに吹き込まれたのです。

選挙肅正部落懇談会の光景



「選挙肅正一件」
（県庁戦前 A 総務 1661）

選挙肅正数え歌



「選挙肅正一件」
（県庁戦前 A 総務 1660）

部落懇談会で配付され、選挙肅正の徹底を図りました。

（演説：一部抜粋）

……殊に諸君、我が防長の地は明治天皇の皇謨に対し翼賛し奉ること最も深き維新の大偉人、憲政の大先覚を輩出したることに付、最も大なる誇を有する土地柄ではありませんか……我々は今にして之等に対し深く恩を致し地方自治の健全なる発達と立憲政治の円満なる成果とを挙ぐるに付最善の努力を致さなければならぬと痛感致すのであります……百難を排して積弊一掃に乗り出すべき時であります、全力を挙げて邁進すべき秋であります。……況や輝かしき憲政の先輩純忠の士を輩出したる我が防長人士の断じてとるべき道ではないと信ずるのであります。諸君、防長精神の権化吉田松陰先生が申されました、「松下陋村と雖も誓つて神国の幹と為さむ」と、此の精神気魄は今日尚躍々として防長人士の血に傳はりつつある筈であります、非常時打開の急を叫ばるる今日、大に此の気魄の躍動を高め真に清き理想の選挙を敢行し防長人士として卒先天下に其の範を示されんことを切望の至りに堪えませぬ

選挙粛正運動要録

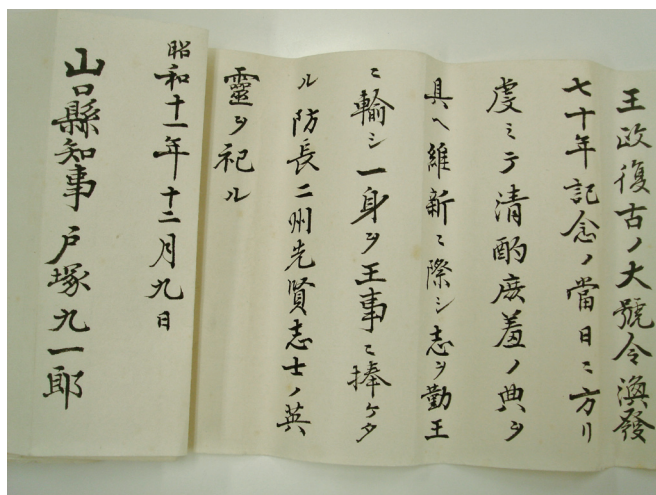
（「選挙粛正一件 地方課」県庁戦前A総務1661）

【防長精神の音】

昭和初年以降、政治の表舞台に姿を現しはじめた「防長精神」は、山口県（長州）の歴史顕彰のあらゆる場面で利用されるようになっていきます。

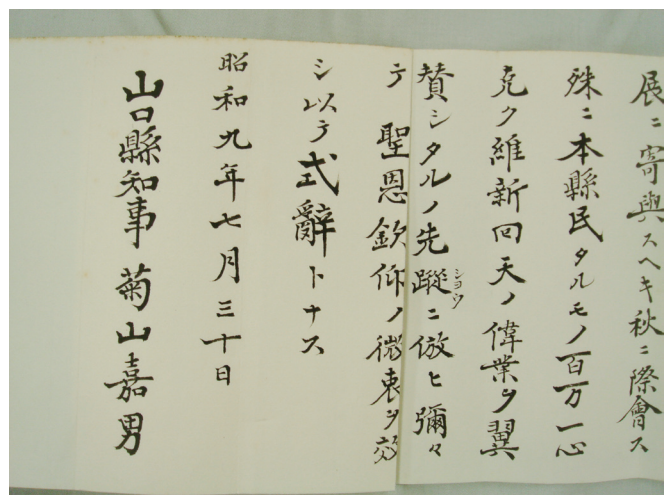
昭和9年には「明治天皇行幸五十年記念行事」として師範学校講堂で記念式典が、教育博物館では行幸記念展覧会が催されました。また、昭和11年の「王政復古七十年記念事業」として亀山園で「先賢慰霊祭」が開かれました。こうした儀式のために用意された「式辞」や「祭文」の文言からも、「防長精神」が強く意識されていたことがわかります。これらを読み上げて「音」を発することに大きな意味があったのです。

昭和11年2月実施の総選挙に向けて、「選挙粛正」のベクトルはより先鋭化されていきます。選挙粛正の徹底のために県下各地で開催された部落懇談会では、「百万一心 明るい選挙」などの標語が会場に掲げられ、それを「読み上げる」ことが重視されました。そして、県庁事務官の説明や選挙粛正啓発映画の上映に加えて、知事演説のレコードはフル稼働したのです。懇談会復命書の様式には、開催地や参加者に加えて、「不穩の言動または秩序紊乱事実の有無」の記入欄も用意されており、これから先の暗いみちのりへのきざしをうかがうことができます。



「王政復古七十年記念事業一件」
（行政文書県庁戦前A総務433）

亀山公園で開かれた「王政復古七十年記念先賢慰霊祭」
（昭和11年）で読み上げられた戸塚知事の祭文



「明治天皇行幸五十年記念行事一件」
（行政文書県庁戦前B52）

明治天皇行幸五十年記念式での菊山知事「式辞」
（昭和9年7月30日〔山口県師範学校講堂〕）